

デジタル人材の育成・確保について

令和4年2月4日
広島県知事 湯崎英彦

《デジタル実装の実践を通じた人材育成の強化》

- デジタル人材の育成には、知識やスキルの習得とそれらを実務の中で活用できる能力を身に付けることが必要。
- 習得した知識やスキルを実務の中で活用できる能力を身に付けるには、デジタル実装の実践の中で経験を積むことが必要。

(参考)「広島デジフラ構想」の推進を通じた人材育成

道路や河川等の土木施設について、デジタル技術やデータを活用したマネジメントを行う「広島デジフラ構想」の実現に向けた取組の中でデジタル人材を育成。

〈取組例〉

- ・ インフラに関する様々なデータを一元化・オープン化するデータ基盤の構築
 - ・ AI や IoT 等を活用した道路施設管理の手法の確立
…法面崩落の予測, 除雪作業の支援, 路面状況の把握, 照明等の道路附属物の自己点検等の行政課題の解決策を官民共同で実証
 - ・ データを活用したインフラマネジメント方法の県市町共同検討
- 企業や自治体がデジタル実装の取組に着手し、素早くPDCAを回しながら実践する中でデジタル人材を育成することの後押しが必要。

《デジタル人材が地域に定着し、活躍できる環境の構築》

- 短期的には、デジタル人材が偏在する東京からの人材の獲得、定着が地方にとっての課題。

(参考) 主な取組

- ・ 人材の獲得 … デジタル企業の誘致, 県全体をフィールドとした実証プロジェクト(ひろしまサンドボックス)等
- ・ 人材の定着 … ひろしまサンドボックスや広島県 DX 推進コミュニティを通じた地域企業や自治体とのつながり構築

○ 確保したデジタル人材が活躍できる環境の構築も重要。

(取組案)

- ・ 企業や自治体がデジタル人材を採用し、円滑な協業を可能とするガイドの策定

〈ガイドの内容〉

- デジタル人材のスキル定義
- プロジェクトの内容, 進捗に応じた登用すべき人材のパターン
- 専門性の異なる人材が協業する際の留意点

〈参考〉 デジタル人材の確保の際に起こる問題・課題

(採用する側)

- 県内企業の約5割がデジタル活用の障壁として人材不足を挙げているが、約3割は必要な人材の要件設定ができない。
- DXを進めるためにIT企業勤務経験者を採用したいが、履歴書を見てもどのように専門性を評価すればよいかわからない。

(採用される側)

- SEとしての勤務経験を生かせると期待して企業のDX推進部門に就職したが、入社後にデータサイエンティストとしての専門性を期待され、学び直しの必要に迫られている。

(組織間)

- 自治体とIT企業とで共同プロジェクトを実施しているが、仕事の進め方や業務内容が異なるため、円滑な進行のために、プロセスや内容をお互いに丁寧に確認していく必要がある。

- ・ デジタル人材の給与、待遇等の勤務環境の整備
- ・ 兼業・副業等の多様な働き方を選択しやすい社会の構築

○ 中長期的には、地方でデジタル人材を育成し、育成した人材が地方の企業や自治体で活躍するデジタル人材のエコシステムの構築を目指す。

(取組案)

- ・ 地方大学における情報科学系学部の定員増
- ・ 単位互換など大学間連携によるデジタル教育の推進

デジタル企業の集積・人材の確保

●ひろしまサンドボックス推進事業

- ・「ひろしまをまるごと実証フィールドに」をキーワードに県内外から企業や人材を呼び込み、デジタル技術を使った産業や地域の課題解決に向けた実証実験やマッチングを実施
- ・デジタルネイティブ層に向けたAI人材育成プログラム

●企業立地促進対策事業

- ・デジタル系企業誘致への重点投資



教育機関等における人材育成

●「学びの変革」推進事業

- ・ICT環境（1人1台PC）整備
- ・AI活用による個別最適な学び

●GIGAスクール構想の実現

- ・県立中学/高校/特別支援学校への校内通信ネットワーク整備

●魅力ある高等教育環境構築事業

- ・遠隔講義システムによる県内大学のネットワーク化
- ・デジタルリテラシー教育のカリキュラム検討

●「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」創出事業

- ・MBD研修の実施
- ・データサイエンス人材の育成



実践を通じた人材育成

●広島デジフラ構想

- ・道路や河川等の土木施設（インフラ）について、デジタル技術やデータを活用したインフラマネジメントを推進することを通じて、県・市町の職員や建設業界の従業員のデジタル技術やデータを活用するスキルを向上



●広島型MaaS推進事業

- ・交通と生活サービスをひとつのサービスとして提供する広島独自モデルの構築を通じて、県・市町の職員のデータ活用スキルを向上



●ひろしまサンドボックス推進事業

- ・県内企業と県外企業がコンソーシアムを組成して実証プロジェクトに取り組むことを通じて、県内企業にデジタルに関する知見を蓄積

●ひろしま型スマート農業推進事業

- ・急傾斜・狭小地の多い中山間地域の土地条件に合ったスマート農業技術の確立に向けた実証実験を通じて、県職員や農業者のデジタル技術やデータを活用するスキルを向上

DXへの理解・実践意識の醸成

●広島県DX推進事業

- ・県内の働く全ての人を対象としたDX基礎研修「みんなのDX研修」
- ・経営者層を対象とした「トップリーダーのためのDXセミナー」

